

16-11

平成 28 年 5 月 13 日

神奈川トヨタが森林保護活動の一環で 表土流出防止の為の柵を作ります。

＝神奈川県の水源林再生事業に協力。150名規模で森林保護活動を実施＝

神奈川トヨタ自動車（横浜市 社長 市川英治）はNPO法人「かながわ森林インストラクターの会」（厚木市 理事長 久保重明）の協力のもと5月21日（土）、22日（日）の2日間、足柄上郡松田町の「やどりき水源林」において森林保護の啓発を目的とした活動を行ないます。

当社によるこの活動は神奈川県がすすめる「かながわ水源の森林づくり」事業への協力の一環で平成10年に開始し、年1～2回のペースで開催しております。

今回で通算33回目を迎え、これまで延べ2,150名の方にご参加いただいております。間伐作業の実体験や森林インストラクターによる森林機能のレクチャーにより、森林保護の重要性を伝えて参りました。

今回はお客様、スタッフ合わせ2日間合計で150名が参加し、同水源林内の周遊歩道側面に土砂の流出を防止する為の、間伐材を活用した土留め柵を作ります。

また水源林内を流れるやどりき沢に入り水生生物等を観察、豊かな自然環境を感じていただくと同時に、水源林保護の大切さをアピールします。



【過去の柵作りの様子】

当日のスケジュール

10:00 オリエンテーション

10:20 午前の部

A) 土留柵作り

B) 水辺の生き物観察、他

※ 2グループに分かれて活動します

13:10 午後の部

A)B)の内容が入れ替わります

15:30 終了予定

神奈川トヨタと「かながわ森林インストラクターの会」では、今回この活動に興味をお持ちの報道関係の皆様さま向けに専属のスタッフをご用意し、取材をお待ちしております。

詳しくは下記の担当までお問い合わせください。

本件のお問い合わせ先

神奈川トヨタ自動車株式会社 渉外広報部 広報室

Tel045-459-2216 担当：佐藤・寺嶋

NPO 法人かながわ森林インストラクターの会

Tel046-297-0301 担当：福島・森本

<別紙>

※神奈川トヨタ自動車「かながわ水源の森林づくり事業」への参加協力について

「かながわ水源の森林づくり事業」とは県北西部の水源地区にある人工林において近年国内林業の衰退等で放置され荒廃に瀕した現状を再生するべく、神奈川県が平成9年4月よりスタートさせた官民一体で進める活動です。

協力企業を募り、寄付及びボランティア活動を通じて、手入れ不足の人工林に対し、水源かん養機能など森林が果たす公益的機能を高めるために、枝打ちや間伐等の手入れを継続的に進め、最終的には巨木林、複層林、混交林等で構成された豊かな水源林の姿へ導くことを目標にしています。

神奈川トヨタは同年、世界初の量産ハイブリッドカー「プリウス」を発売したのを機に、この事業のパートナー企業第1号として参加を決め、同事業に毎年プリウスの販売台数に応じた寄付を行ない、今日までの累計額は約5,800万円となっております。

併せて、プリウスのお客様ご自身に森林保護活動を体験していただけるよう顧客参加型の森林保護活動の会を発足。

当社で「プリウス」を購入されたお客様が活動の主体となっていることから「プリウス森木会(しんぼくかい)」と銘打ち、年間4日間のペースで森林保護活動や自然観察会などを実施して参りました。

神奈川県、NPO法人かながわ森林インストラクターの会と協力しながら地元の森林保護について啓発を広めています。

※かながわ森林インストラクターの会について

平成2年6月に制定された神奈川県知事認定資格「神奈川県森林インストラクター」の方々により平成4年4月に発足。平成20年4月よりNPO法人となる。

県民を森林に案内し、林業に携わる人々とのふれあいを通じて森林・林業に関する知識と理解を深め県民参加による森林づくり運動を推進しています。

同会ではこの「プリウス^{しんぼくかい}森木会」に初回から協力、参加者に対し植樹や間伐^{かんぼつ}といった森林整備に関する作業の指導のほか、森林内での楽しみ方や森林内に生息する動植物についてのガイダンスを行なう等、森林整備・保全の意義を伝えています。

以上